

全火災引報

第 5 0 9 号
平成29年 9 月
発行元 公益社団法人
全国火災引報協会
電話 03(35553)8762
郵便番号 104-0032

東京都中央区八丁堀 4 丁目13番 5 号
公益社団法人
全国火災引報協会
発行責任者 佐久間 信彰
www.zenkakakyō-ex.or.jp

●平成29年度火災引報保安責任者試験及び丙種火災引報製造保安責任者試験について

上記試験は、9月3日(日)に49の試験会場で行われ無事終了いたしました。

出願者(人)	受験者(人)	受験率(%)
甲種取扱	3,789	93.9
乙種取扱	1,119	95.4
丙種製造	108	99.1
計	5,016	94.3

●会議等開催状況(8月)

開催年月日	会 議 等 名 称	備 考
29. 8. 7	「火災と保安」誌編集委員会	第 1 回
8. 17	火災引報国際化対応委員会	第 2 回
8. 24	爆発影響低減化委員会本委員会	第 2 回
8. 28	「煙火の製造と保安」改訂版編集委員会作業部会	第 3 回

●平成29年 6 月の産業火災類の生産、出荷(販売)、在庫量

生産	出荷(販売)	在庫
産業用火災類(単位:万)	2,502	2,973
(前年同月比)	(87.9)	(96.3)
		(95.1)

注:産業用火災類は、火災及び爆薬(武器用を除く)の合計(確報値)である。

●景気は、緩やかな回復基調が続いている。

— 8月の月例経済報告 —
内閣府は28日、月例経済報告等に関する関係閣僚会議に「8月の月例経済報告」を提出し、承認された。

(我が国経済の基調判断)

景気は、緩やかな回復基調が続いている。

・個人消費は、緩やかに持ち直している。

・設備投資は、持ち直している。

・輸出は、持ち直している。

・生産は、持ち直している。

・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。

・雇用情勢は、改善している。

・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあつて、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

(政策の基本的態度)

政府は、東日本大震災からの復興・創生及び平成28年(2016年)熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針2017」、「未来投資戦略2017」、「規制改革実施計画」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」及び「ニッポン一億総活躍プラン」を着実に実行する。さらに、人生100年時代を見据えた経済社会の在り方を構想するため、「人生100年時代構想会議」を早急に立ち上げ、人づくり革命を推進する。働き方改革については、3月に決定した「働き方改革実行計画」に基づき、早期に関連法案を提出するとともに、高度プロフェッショナル制度の創設や企画業務型裁量労働制の見直しなどの法改正を早期に図る。また、デフレから完全に脱却し、しっかりと成長していく道筋をつけるため、「未来への投資を実現する経済対策」及びそれを具体化する平成28年度第2次補正予算を円滑かつ着実に実施する。加えて、平成29年度予算を円滑かつ着実に実施する。

これらにより、好調な企業収益を、投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大を実現する。

日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。

●平成29年火災引報関係事故について(8月31日現在)

[I] 総括表(取扱・種類別一覧表)

取 扱 項 目	種類別	事故件数	死亡者数		負傷者数	
			件数	計	人数(重-軽)	計
製 造 中	産 業 火 災	1	0	0	0-0	0-0
	が ん 具 煙 火	0	0	0-0		
消 費 中	産 業 火 災	4	1	1	1-0	1-15
	が ん 具 煙 火	26	0	0	0-10	
運 搬 中	産 業 火 災	0	0	0	0-0	0-0
	が ん 具 煙 火	0	0	0-0		
貯 蔵 中	産 業 火 災	0	0	0	0-0	0-0
	が ん 具 煙 火	0	0	0-0		
が ん ろ う 中	産 業 火 災	0	0	0	0-0	0-0
	が ん 具 煙 火	0	0	0-0		
そ の 他 事 故	産 業 火 災	1	0	0	0-1	1-3
	が ん 具 煙 火	2	0	0	1-2	
合 計	産 業 火 災	6	1	1	1-1	2-18
	が ん 具 煙 火	28	0	0	1-12	
合 計		48	1	1	0-5	

[II] 事故一覧(産業火災)製造中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
1	4月5日 15:20頃	群馬県 高崎市	0	0-0	C1	誘導弾の機能試験中に、ロケットモーターが発火し、試験装置等が破損したものの。
合 計			0	0-0		

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
1	2月27日 8:50頃	宮城県 石巻市	0	1-0	C1	用材採取用の粘板岩(幅11m、奥行1.9m、高さ0.8m)を上下に割るため、ドリルで水平内に穿孔(直径2.6cm、深さ67cm)し、その孔内にてヒール袋に入れた黒色火災及び誘導火物を入れ、砂利(3mm~5mm)による込め物を行い、真鍮製の込め棒で突き固めをしていところ爆発し、負傷したものの。(重傷1名:左手指第4、5指欠損)
2	4月18日 22:37頃	神奈川県 横浜市	0	0-0	C1	首都高快速道路(株)から委託された事業者が、高快速道路入口の消火栓箱の点検において、車線規制のために道路作業用信号機管を使用。その際、信号機管が道路上のラバーポールに接触したため、時間の経過とともに着火したものの。当該入口を車で通過した者が火災を発見し、ペットボトルの水で消火した後で料金所の職員に知らせた。職員から連絡を受けた管制室が消防へ通報。(消防による消火活動はないものの、火災認定はあり。)
3	5月19日 10:00頃	鹿児島県 肝付町	0	0-0	C1	採石場において火災引報消費中に飛石(20cm大)が発火し、約400m離れた民家の軒1箇所を貫通し、窓ガラス等を破損したものの。
4	5月29日 15:40頃	福島県 いわき市	1	0-0	B1	採石場にて発破作業をしていたところ、発破で飛散した岩石が、砕石作業用のショベルカーの窓を破り、乗車していた男性作業員の腹部に衝突したものの。事故発生時、当該ショベルカーは発破場所から50m離れて待機していたものの、岩石が想定を超えて飛散したものと考えられる。負傷者はドクターヘリにより病院へ搬送し、集中治療室で処置を行ったものの、同日21時頃に死亡。事故原因や法令違反の有無等の詳細については調査中。
合 計			4件	1	1-0	

ベテランも初心に戻る 講習会

発破作業

慣れと慢心 心の油断

基本に戻って再確認

その他事故						
番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	3月14日 15:20頃	大阪府 大阪市	0	0-1	C1	倉庫内において、訓練用発煙用品と誤認して、火工品(火薬量2g)をスチール缶に入れた着火したところ、スチール缶が破裂し、負傷(右手第3、4指の打撲)したもの。
計			0	0-1		

(煙火)
消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	5月1日 20:01頃	和歌山県 白浜町	0	0-0	C1	19時45分頃から、アトペンチャーワールド内において、煙火の打揚が行われていたところ、20時01分頃に同施設内の雑木林から炎が上がっていることを従業員が発見し、白浜町消防本部に通報があった。その後、自衛消防隊及び白浜町消防本部による消火活動が開始され鎮火した。
2	5月27日 20:45頃	山口県 山口市	0	0-0	C2	花火大会終了後、警戒にあたっていた消防隊が煙火消費場所に隣接する松林(安全な距離)内から煙が上がっているのを確認したため、松林内を検索したところ雑木及び下草(約6㎡)が燃えているのを発見、消火したものの、花火大会において煙火を消費中、早打ちにより打ち上げた9cm玉が標準高で正常に開発したものの、中に入っている雷粒の一つが正常に開発せず、地上から約1m未満の高さで低空開発したものの。(安全距離内)
3	6月5日 20:20頃	愛知県 名古屋市	0	0-0	C2	花火大会において煙火を消費中、早打ちにより打ち上げた9cm玉が標準高で正常に開発したものの、中に入っている雷粒の一つが正常に開発せず、地上から約1m未満の高さで低空開発したものの。(安全距離内)
4	7月16日 20:52頃	大分県 津久見市	0	0-0	C1	花火大会において打ち上げを開始し、「尺玉60段打」を台船上で実施中に「過早発」が発生。人の被害は無いが、津久見建設所有の台船(津龍号)のキャビンの窓ガラス3枚が破損。原因は調査中。
5	7月22日 20:15頃	三重県 紀北町	0	0-0	C2	花火大会で煙火消費中に煙火(7号玉1個)が上空で開発せず、黒玉となって海中(堤防の外側)に落下した。当日及び翌日に黒玉を捜索したが、発見できていない。
6	7月22日 20:20頃	岐阜県 各務原市	0	0-0	C2	花火大会の煙火消費中に黒玉(2.5号玉1個)が発生。花火鑑賞者が発見し、消防団員に知らせた。消防団員は、ジェットシューター(背負い式消火水の水のう)で黒玉に水を大量にかいた後、花火大会終了後に煙火業者へ引き渡した。
7	7月22日 20:41頃	愛知県 名古屋市	0	0-0	C2	花火大会で煙火を消費中に、小型煙火1台が発射による反動で傾き、危険区域外へ3発が飛翔した。
8	7月27日 20:35頃	和歌山県 白浜町	0	0-0	C2	33発のうち、1発が開発をせず海に落下したものの。大会翌日、周辺の海岸を捜索したものの黒玉は発見されず、継続して捜索中。
9	7月29日 20:00頃	岐阜県 大垣市	0	0-0	C1	花火大会にて煙火(20号玉1個)が、打上直後に開発し、花火大会関係者の車両2台が一部破損、及び枯草が1㎡焼失した。
10	7月29日 20:10頃	広島県 廿日市市	0	0-0	C2	花火大会にて、煙火4号玉20発を打ち上げた途中、7発目が地上10mで開発、その後2本が筒ばねを起こし、さらに1本の筒が倒れ地上で開発した。
11	7月30日 19:50頃	山形県 新庄市	0	0-2	B1	花火大会アログラムの約3分の2程度打揚げた頃、小スターマシン(1セット)22発構成:2.5号11発、3号10発、4号1発、1筒に2発ずつ充てんされ、計11筒)の打揚げ最中に事故が発生した。1筒目は通常どおり打ち揚がったが、2筒目から10筒目が異常爆発(筒ばね)した。残りの1筒は、4号玉と2.5号玉であったが、筒の位置が離れていたため影響はなかった。(リ)モコンで発射させる電気点火予定のため)
12	7月30日 21:50頃	鹿児島県 伊仙町	0	0-0	C2	花火大会において火の粉が近くの雑木林(安全距離内)に落ち、雑草を一部焼いた。
13	8月3日 20:45頃	鳥根県 邑南町	0	0-0	C2	夏まつりにて黒玉が発生。2.5号玉を単発で打揚中に、開発せず地上に落下したものの。消費場所直近の水田(水が張っている)に落下し、3日間燃え続けたが発見されていない。水田管理者に状況を説明するとともに、地域住民にも注意喚起を実施。
14	8月5日 20:00頃	宮城県 仙台市	0	0-0	C2	七夕花火祭りの煙火消費終了後に確認を行っていたところ、煙火筒1本が破損していることがわかった。なお、消費中に他の開発高さより低いものが1発確認されている。
15	8月5日 20:15頃	千葉県 千葉市	0	0-0	C2	花火大会にて、4号玉が筒ばねを起こした。
16	8月5日 20:50頃	埼玉県 三郷市	0	0-2	C1	花火大会にて、安全距離の外にいた観客2名が煙火の落下物(詳細については現在確認中)によりやけどを負った。2名は当日中に市内の病院に搬送され、共に軽傷(1名は右手甲、1名は右足くるぶしにやけど)。

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
17	8月10日 19:45頃	栃木県 那須町	0	0-1	C1	花火大会にて、小型煙火を水上にて消費中、火の粉が観客席に届き、子供1名が軽度の火傷を負った。(右足すね付近に1cm程度の火傷を負い、現地でアソシングの上、病院で処置。)
18	8月13日 20:15頃	京都府 京丹波町	0	0-0	C2	花火大会にて煙火消費中、2.5号玉の打揚時に筒ばねが発生した。
19	8月14日 14:00頃	愛知県 東海市	0	0-0	C2	公園を管理する施設管理者が、2日前に開催された花火大会の打ち揚げ場所周辺の掃除を行っていたところ、黒玉(3号玉)を1個発見した。
20	8月14日 20:30頃	高根県 安来町	0	0-2	C1	花火大会にて、打揚筒から打ち込んだ水中煙火が安全距離外で開発。火の粉が対岸岸壁のイベント会場付近で見物していた客に当たり、2名が火傷(軽傷)を負った。
21	8月15日 20:15頃	京都府 京丹後市	0	0-0	C2	花火大会において、打ち揚げた5号玉煙火が開発せず、周辺の茂みに落下。落下当日、また翌日も捜索したが発見できず、現場周辺にはロープ、看板を設置し、立入禁止措置を実施。周辺住民にはチラシにより注意喚起を実施。
22	8月15日 20:30頃	富山県 富山市	0	0-1	C1	花火大会で煙火を消費中、観賞している女性1名の額に何かあたり出血、救急搬送された(病院到着時には出血は止まっていた)。聖朝の現地確認にて、女性が観賞していた場所付近で小型煙火の部品(石巻製の筒のふた)が発見されたことから、この部品が立入禁止区域外まで飛散し、女性の額にあたったものと推定されている。
23	8月16日 20:00頃	静岡県 富士市	0	0-1	C1	手筒花火演舞中、演舞者の腹掛けから取り出し忘れていた玩具煙火(直前のイベントで使用)が、手筒花火の火の粉により着火、演舞者が胸腹部及び左手指に火傷(中等症)を負った。
24	8月16日 21:00頃	兵庫県 朝来市	0	0-0	C1	花火大会において、煙火玉3号(5連射×10回)のうちいくつかで筒ばねが発生した。人的被害・火災はなし。田んぼの小屋・稲、砕石工場の看板パネル、動物よけの柵、市下水施設の窓ガラスの一部を損傷。
25	8月20日 21:15頃	長崎県 雲仙市	0	0-1	C1	花火大会において、安全距離外(グラウンド脇の歩道)にて花火を見物していた女児(小3)が、飛散した花火により火傷を負った(左足の際、股の内側、右足のスネに3ヶ所の軽度の火傷)
26	8月26日 19:50頃	宮城県 仙台市	0	0-0	C2	花火大会にて煙火を消費中、3号玉の煙火筒3本で、筒ばねが発生した。
計			0	0-10		

その他事故

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	5月25日 13:50頃	長野県 上田市	0	0-1	C1	89歳女性がドラム缶の中で廃棄物を焼却処理中に、廃棄物が破損し顔に熱傷を負った。消防本部によると、付近の住民がパンプンという音を1回聞いたことと、ドラム缶中に不発の"ちつきょう"型の煙火と思われれる物体(サイズ:全長約6cm、球状部直径約3cm)"が残っていたことから、この物体が破損したものと推定される。
2	7月26日 13:50頃	香川県 坂出市	0	1-1	B1	なお、ちつきょう型の煙火らしき物は、昭和29年の日付の新聞紙に包まれていたような形跡があることから、入手経路の調査は困難であることに加え、認知症が進行している女性から事故当時の状況が明確に聴取できず、破裂の原因は特定されていない。
計			0	1-2		

(がん具煙火)
消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	3月20日 14:26頃	山形県 東根市	0	0-0	C2	4時26分、山形空港管轄塔より滑走路東側草地から煙が上がっている旨の連絡があり、確認したところ出火していたため、山形空港消防警備隊が出勤し消火活動を行い14時40分に鎮火した。草地8750㎡が焼失。定期便2226便(定刻14:55発大阪便)に47分の遅れが発生。パワードラスイーブ(鳥追い)のために使用したロケット花火の残り火が枯れ草に引火したと推測。(消防聞き取り) なお、3月20日4:55から3月21日10:25にかけて火災気象通報が発表されており、火災が発生しやすい状態であった。

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事 故 概 要
2	3月30日 11:00頃	富山県 射水市	0	0-0	C1	ゴルフ場のコース内のモグラ駆除のため、従業員が着火した緊急保安炎筒を巣穴に入れたところ、火が周辺に燃え広がったもの。付近に水を入れたバケツを準備していたが消火しきれず、当該コースを一時閉鎖し、ゴルフ場の散水車による作業員が消火し、11時25分頃に鎮火した。当日は比較的乾燥していたため風にあおられ燃え広がったと考えられる。(火災認定あり。)なお、当該作業は、今回初めて試験的に実施した。
3	5月25日 5:40頃	宮城県 気仙沼市	0	0-1	C1	居住者によると、5時30分頃、カラスの鳴き声がうるさかったため、2階の窓からロケット花火3本に火をつけて屋外に向け打ち上げ、部屋を離れた後、同窓のカーテン等から炎が上がったもの。消防車両6台が出勤し、消火活動を行い、7時21分に鎮火。初期消火を行った居住者が軽傷(気道熱傷)。
4	5月25日 21:00頃	北海道 札幌市	0	0-0	C1	付近住民が、個人宅敷地内に設置のウッドデッキから火が上がっているのを確認し、消防へ通報。消防隊は、屋外設置のウッドデッキの焼損及び付近から白煙の上昇を確認したため、放水活動を実施、消火。居住者によると、出火する前の20時から20時30分までの間に、家族3名でウッドデッキ上で手持ち花火をしていたとのこと。
5	6月4日 15:50頃	香川県 高松市	0	0-0	C1	中学生が煙玉で遊んでいたところ、煙玉が転がって下草に着火し、下草44㎡とともに、電柱2本のカバーが焼失したものの。
6	7月18日 20:00頃	長野県 長野市	0	0-0	C2	家族で花火をしていたところ、当事者である小学1年生が手持ち花火を立ち木に向けて1本を消費したところ、立ち木に燃え移ったもの。
7	7月16日 21:38頃	和歌山県 由良町	0	0-1	C1	小児数人で花火をして遊んでいたところ、他人の手持ち花火の花火が幼児(5歳)の顔にあたり、左眼周辺の皮膚に1度の熱傷を負った。眼球等に異常なし。(当時大人は不在)
8	7月17日 16:04頃	大阪府 大阪市	0	0-0	C2	河川敷で高校生5人が、羽根つき筒状のがん具煙火(地上に設置して使用するものを投げて遊んでいたところ、枯草に着火し、雑草等約470平方メートルが焼失したものの。
9	7月26日 19:41頃	北海道 札幌市	0	0-0	C1	居住者が、屋外に置いてある物品(確認中)から火があがったのを確認し消防へ通報。消防隊到着前に、付近住民と協力し、消火器及び水バケツにて消火した。居住者によると、出火する前に家族で、焼損した物品の付近にて手持ち花火をしていたとのこと。
10	8月4日 20:40頃	北海道 札幌市	0	0-2	C1	敷地内の花火大会にて、女性が子供を抱きかかえ、打揚花火(市販されているがん具煙火)を観賞していたところ、落下してきた花火の火の粉が当たり両名が軽傷を負った。女性：下頸部Ⅱ度熱傷。子供：前額部、右大腿部、右手背部Ⅰ度熱傷。
11	8月13日 22:29頃	愛知県 名古屋市	0	0-0	C1	火災通報を受けて消防車両11台が出勤し、消火活動を実施。木造平屋建て倉庫の壁(約1㎡)が焼損した。救護時間前に近くでがん具煙火で遊んでいた人がいたとの情報があり、周辺にも花火の残骸が捨てられていたことから、がん具煙火の火種が原因で着火したものであるとして調査中。
12	8月21日 00:56頃	千葉県 千葉市	0	0-0	C2	がん具煙火を消費中、下草に着火し延焼した。(なお、がん具煙火の消費者は、消防隊到着時には立ち去っており、当事者不明)
13	8月23日 20:30頃	大阪府 大阪市	0	0-1	C1	大学生数人でがん具煙火(打上花火)を消費中、誤って筒を覗き込んだところ、飛翔した火花により1名が顔面を負傷し、眼鏡が壊れたもの。左眼球及び左まぶた熱傷(軽傷)
14	8月28日 20:25頃	和歌山県 田辺市	0	0-0	C2	男児2名が、和歌山県が所有する荷さばき場で吹出花火を行っていたところ、花火の火が下草に着火し燃え広がりが、下草17㎡が焼損したものの。現場にいた者がベクトルボルの水で消火したものの、煙がでていたため消防に通報。(消防隊による消火活動は無かったが、火災と認定された)
合 計			0	0-5		